

2・3月の様子

小鴨コミュニティセンター主催事業や、各種団体の活動を紹介します。

2月26日(日)

親と子の小学校入学前交流講座



4月に小鴨小学校に入学する年長児と保護者を対象に開催しました。保護者はとっとり子育て親育ちファシリテーターの河本純子さん、園児たちは船上山少年自然の家指導員三木雅司さんを講師に迎え、親子分かれて活動しました。保護者は、疑似体験やペアでの話しあいなども交えて話を聞きました。園児たちは初めて同士でも仲良くなったようでたくさん笑顔が見れました。

3月14日(火)

あい・リスンコミュニティ・おがも

色上質紙で箱、新聞紙で袋を作りました。「練習して覚えたはずなのに忘れちゃったわ。」「どう折るんだっけ。」など、みんなでわいわい言いながら折りました。

『花一輪健康法』も、参加者が毎回楽しみにしています。選ぶ花や花器が、その人にぴったりで人を表しています。



おがも川柳会

ふきのとう目ざめ顔出す春の風
今流行スマホ決済持たず
恵方だと聞けど手応えなにもなし
口程に足も動けば丁度いい
思い切り断捨離したが念残る
老人はついて行けない流行語
良い事も悲しい事も春にある

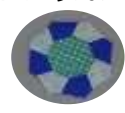
よう子 風露 白萩 祐子 寿々子 酔芙蓉 さち子

3月3日(金)

となりのこうみんかんクラブ

今年度最後のとなりのこうみんかんクラブでした。

宿題に取り組んだ後、地域の大人の人から教わりながら、折り紙でリースを作ったり、ゲームをしたりして過ごしました。



3月15日(水)

男のクラブ

小鴨音頭シニア版の歌と踊りの披露と、牧原 瞳さんのピアノミニコンサートがありました。



3月16日(木)

子育てママ講座 ソーイング教室



くまこ屋松下ゆかさんを講師にお迎えしました。エプロンに絵本バック、巾着袋など参加者が思い思いのものを、アドバイスしていただきながら作成しました。

3月17日(金)

隣のDAI学院 私たちの歩みを映像で振り返ってみました



隣のDAI学院学級生が映っている過去のDVDを見たあと、小グループに分かれて意見交換をしました。集まって話をする機会が大事でこの先も続けていけたらとの感想もありました。

(小鴨地区振興協議会よりお礼) 3月19日、22日にサロンコンサートを開催しました。昨年、一昨年と中止だったため、コンサートを心待ちにしてくださった方もありました。ご来場ありがとうございました。

3月11日(土)

おがもPMC

保護者：みんなで話そう！「いいなあ～こんな小鴨 わたしたちにできること」

児童：作品づくり「みんなで作ろう 桜の木」「うさぎの置物」

3年間の研究指定事業、最後の講座と閉講式を行いました。



保護者は中部教育局社会教育担当係長 徳永正樹さんをお迎えしグループでラベルワークを、児童は伊藤早希さんを講師に共同作品の桜の木、うさぎの置物を作りました。保護者は、3年間を振り返りながら今後に向けて話しあいをしました。児童は、毎年最後の講座で作成していた共同作品「桜の木」を作りました。閉講式では、3年間の思い出のスライドを見て懐かしみました。



3月20日(月)

健康教室「動きやすい身体にする体操」



土井智恵さんを講師にお招きし、骨盤を中心とした体操を教えてくださいました。30代～70代各年代で参加がありました。「肩こりのある人！」「小顔になりたい人！」「etc先生の質問にみんなが挙手！参加者からは「身体を動かす前と後の変化にビックリ。身体は日ごろから動かさないといけないと痛感しました。」「身体が軽くなりました。」「家でもできることを続けていきたい。」など感想がありました。

☺ 小鴨コミセン笑顔だより ☺

新年度を迎えて

桜の季節を迎え、新年度がスタートしました。新入生と新社会人の門出を地域の皆さまでお祝いし、ふれあいロードの満開の桜とともに見守りたいですね。

さて、コロナ渦により住民の皆さんが集う地域行事や会合が中止となったり制限付きとなって三年が経過してしまいました。幸いにも先月よりマスクの着用が個人の判断に委ねられるようになり、五月の連休明けには感染症二類から五類に変更になるなど、国もコロナ渦前の日常生活を取り戻すようにしているようです。小鴨コミセンでも三月には自治公役員研修会やサロンコンサートなど室内としては比較的大人数の参加者を迎えての事業が開催されました。しかし、まだ新型コロナウイルスが終息したわけではありませんので、引き続き感染対策を施しながらも徐々に皆さまに集まってもらっての事業が通常通りに実施されるように向けていきたいと思っています。



世界的には戦争や大規模地震などまだまだつらい出来事が続いています。私たちの身近ではカーシェア倶楽部の「日本海新聞ふるさと大賞」受賞、新関取「落合」とWBC侍ジャパンの大活躍など明るい話題が盛り沢山です。今年度も明るい地域の話題を数多く耳にすることを心待ちにしています。いや皆さん一人一人が健康で、明るい話題を自らが沢山作っていきましょう。

皆さまの小鴨コミセン利用時のマスク着用につきましても、個人の判断にお任せする方針ですが、手指の消毒と換気はよろしくお願いします。